

7 図画工作科における環境教育の学習指導事例（第2学年）

環境教育の視点とのかかわり

本事例は、自然の材料を基にした造形活動を通して、児童が諸感覚を働かせながら、自然の材料のよさや美しさを実感できるようにした事例である。指導に当たっては、自然の材料から感じるよさや美しさに関心をもって集められるよう、一斉に材料集めする時間を十分に確保したり、生活科との関連を図り、日常の生活でも自然の材料のよさや美しさを話題にして、児童が材料集めに関心をもてるようにした。

また、表現活動で使用した材料の残りや不要物などの回収、活動場所の整備など、学習後の環境への配慮も十分に行うようにした。

1 題材名 ちきゅうからの おくりもの （材料を基にした造形活動）

2 題材について

本題材は、児童一人一人が自分で集めた自然の材料を基に、楽しく造形活動する題材である。

まず、落ち葉や木の実が手に入りやすい時期をねらって、朝や帰りの会などに校内や近くの公園の木々や草花の様子について話をするようにする。この話を通して、秋の深まりとともに変化していく自然の様子について、児童が関心をもつようにしていく。

その後、生活科の学習との関連を図りながら、それらの場所に実際に出かける機会を設ける。そして、そこにある枝や葉や木の実などを基にして児童と対話しながら、自然の材料に対する児童の関心を高めていくようにする。この活動は一度だけでなく何回か繰り返すとともに、実際に手に取って諸感覚を働かせて、その自然の材料のよさや美しさなどを感じ取れるようにしていきたい。

このようにして、自然の材料のよさや美しさを感じ取る体験を積み重ねながらそれらを集めていくようにする。そうすることにより、集めた自然の材料は単なる材料ではなく、児童にとって特別な価値をもつものになると考えるからである。「大切にしたい」「宝物のよう」というような気持ちをもって集めた自然の材料であれば、その後の造形的な創造活動に意欲をもって取り組むことも大いに期待できるからである。自然の材料とそのようなかかわりができるよう、一人一人の児童の表情やつぶやきなどを通して内面の様子も見取りながら、材料集めを行うようにする。

実際の展開では、一人一人の児童が取り組もうとしていることや実際に取り組んでいることに対して、質問や確認をしたりしながら、なぜそうしようと考えたのか、児童がその理由を明確にもてるようにする。そのことを通して、児童が自分で集めた自然の材料に対する思いをさらに見つめることができ、自然の材料のよさや美しさをより深く感じ取ることができるからである。

また、活動場所は教室でなく、周りに自然を感じる屋外の広場で行う。藤棚の藤の木や池の周りの草木など、環境の特徴とかかわった活動に取り組むことも期待できるからである。そして、そのような活動からも、自然の材料のよさや美しさに気付かせていきたいと考える。

活動に当たっては、活動内容が同じ者同士や同じ材料を使う者同士でグループをつくり、共同で取り組むようにする。グループで活動に取り組むことにより、自分や友達の表したい思いや願いを共感する場をもてるようにすることがねらいである。それにより、友達の表現のよさに気付くとともに、友達から認められる自分の表現のよさに自信をもつことが期待できると考える。



「いい感じになってきたぞ！」

3 題材の目標

- (1) 自然の材料のよさや美しさに関心をもって、それを使った造形的な創造活動を楽しむ。(造形への関心・意欲・態度)
- (2) 集めた材料の色や形や材質などから、活動を思い付いたり、考えたりする。(発想や構想の能力)
- (3) 思い付いたことや考えたことを、自分の表現方法で活動する。(創造的な技能)
- (4) 自他の活動やできたものを、楽しんで見る。(鑑賞の能力)

4 題材の指導計画・評価計画

(1) 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自然の材料のよさや美しさに関心をもって集めたり、自然の材料から思い付いた活動に、自分の表し方で取り組むことを楽しもうとしたりする。	集めた自然の材料の形や色などの美しさや面白さに気付いたり、感じたことなどから思いをふくらませて、活動したいことを思い付いたりする。	思い付いた方法を試したり、自分の表し方を確かめたりしながら、体全体を思いのままに働かせている。	自分の活動や作品を見せたり、友達の表したかったことを聞いたりして、楽しく見る。

(2) 指導計画・評価計画の概要 (4時間)

	学 習 活 動	◎学習活動における評価規準 ○児童の姿 <評価方法> (評価の観点)
第 1 時	1 自然の材料集めをする。 ↑ 行き戻り ↓	◎自然の材料に興味をもって集めている。 <対話・活動・発表> (関) ○自然の材料の色や形のよさや美しさに関心をもつ。 ○自然の材料の触り心地などを楽しんでいる。
	2 集めた自然の材料を基に、活動したいことを考える。 ↑ 行き戻り ↓	◎自然の材料の特徴から、活動したいことを思い付く。 <対話・活動・表現> (発) ○材料の色や形のきれいな組み合わせ方を考えている。 ○材料の大きさを生かした活動を考えている。 ○活動したいことについての自分の考えを、友達に伝えている。
	3 思い付いたことに取り組む。 ↑ 行き戻り ↓	◎活動しながら、思い付いたことを付け加え、活動を発展させていく。 <対話・活動・表現> (発・創・鑑) ○思い付いたことを試しながら、活動している。 ○場所の特徴を生かして、活動している。 ○友達が試みていることのよさや美しさを感じ取りながら活動している。 ○友達と協力して、活動をしている。
	4 できたものを見合いながら、そのよさや工夫を感じ取る。	◎自他の活動やできたものを、楽しく見る。 <対話・活動・記録> (関・鑑) ○自分が活動したことに満足している。 ○自分が活動してできたものを、友達に見せている。 ○友達が表したかったことを聞いている。

※ 評価の観点の記号は、以下のとおりとする。

関…造形への関心・意欲・態度 発…発想や構想の能力 創…創造的な技能 鑑…鑑賞の能力

5 指導の実際

(1) 準備

- 教師 自然の材料（木の実、木の枝、落ち葉、葉、石、道ばたに生えている草花など）
接合に使う物（木工用接着剤、麻ひも、粘着テープなど）
材料を加工する用具（きり、のこぎり、はさみなど）、材料を入れる箱やビニル袋
その他、児童の活動の広がりに応じて必要な材料や用具
- 児童 自分で集めた自然の材料（事前又は事後に集めた木の実や枝、草花など）
自分で使いたい材料や用具（ひも類、モールなど）

(2) 展開

※ 教師の支援の記号で、◎は、環境教育の視点からみて大切にしたい支援を指している

学習活動（∞予想される児童の活動）	教師の支援（◎・○） ・ 評価
提案1 「ちきゅうからの おくりもの」を、あつめよう！	
1 自然の材料集めをする。 ∞ 自然の材料をたくさん集めている。 ・「ススキの穂ってふわふわしているね。」 ・「この落ち葉の赤い色、きれいだよ。」 ・「こんなに集まったよ。」	◎生活科の秋探しの活動と関連させて、学校の周りの木々などの様子について話をし、秋の深まりとともに変化していく身近な自然に児童が関心をもてるようにする。 ◎自然の材料のよさや美しさについて、児童と対話をしながら材料集めをする。 ◎児童に実際に材料を手にとらせ、諸感覚を働かせながら自然の材料のよさや美しさを感じ取れるようにしていく。 関 自然の材料のよさや美しさに関心をもって、材料集めをしている。 <対話・活動・発表>
2 集めた自然の材料を基に、活動したいことを考える。 ∞ 気に入った自然の材料をすぐ手にとって紹介する。 ・「このしいの実は、色がつやつやしてきれいだよ。」 ・「この枝は、大きさが気に入っているんだ。」 ∞ いろいろな自然の材料に対して思いを巡らす。 ・「同じ木の実でも、大きさや形が違うんだね。」	○自然の材料集めの様子やその後の自然の材料へのかかわりの様子についての話し合い活動を通して、児童一人一人が、自分が集めた自然の材料に対する思いや願いを確認できる機会を設けるようにする。 ○自然の材料への思いや願いが明確だと判断した児童に対しては、そのよさを共感的に評価する。そして、児童が、その思いや願いを生かした活動に意欲をもって取り組もうとするような声をかけていく。 ○自然の材料への思いや願いがはっきりしていない児童がいたら、次のような内容についての対話を通して、それらを明確にもてるようにしていく。 ・材料の造形要素（色、形、大きさ、質感など）から感じたこと（よさや美しさなど） ・材料を見つけたときの気持ち（うれしさや喜びなど）

・「この葉もよいけど、そのススキもやわらかそうでいいね。」

関 発 集めた自然の材料の形や色などの美しさやおもしろさに気付いている。
〈対話・活動〉

提案2 あつめた「ちきゅうからの おくりもの」といっしょに、どんなことをしたい？
「ちきゅうからの おくりもの」がよるこびそうなことをやろうよ。

↑
行き戻り
↓

3 活動しながら思い付いたことを加え、活動を発展する。

- ∞ 友達と協力して、活動している。
- ・「ここをこうしたらどう？」
- ・「うん、それいいね。」
- ・「もっと、こうした方がいいよ。」

- 活動内容が同じ者同士や同じ材料を使う者同士でグループをつくって活動に取り組むように促す。
- どのグループに入るか考えている児童がいたら、あわてなくてもよいことを伝える。また、後から入りたいグループができれば、そのことを互いに気持ちよく認めることも呼びかける。
- 児童が発想したことについて共感的に対応するとともに、なぜそう考えたのかを確認することで、児童が活動への思いや願いをより明確にもてるようにする。
- はじめは一人一人の児童がどんな活動に取り組むのかを見守るようにする。ある程度活動が進んだ後に、その理由をたずねるようにする。
- 質問を通して、児童が自然の材料や活動に対してその児童なりに明確な思いや願いをもっていると判断した場合は、作品づくりでも、行為そのものを楽しむ活動でも認めていくようにする。



「これで、いい?」「ありがとう!」

- ∞ 気に入った自然の材料に、他の材料を組み合わせてたり、お話をつくったりしながら、活動したりつくったりする。
- ・「枝と枝を、麻ひもで結んでつないでみるよ。」
- ・「石ころ君の冒険が、始まるよ。」
- ∞ 葉っぱをひらひら落としたり木の実を並べたりする行為を楽しむ。
- ・「葉っぱも、こんな落ち方をさせるときれいだね。」
- ・「どんどん並べていくと、おもしろいよ。」



「ねえ、ちょっと、ここ押さえてくれる?」

- どんどん活動している児童には、見守ることを中心に、機会を見ながら取り組みのよさを称賛していくようにする。
- 考えながら活動している児童には、対話を通して活動しようとしている内容のよさを見出すようにするとともに、活発に活動に取り組むきっかけをもてるようにする。
- グループ内で考えを出し合って協力して活動に取り組んでいる姿を大いに称賛し、友達とかかわりながら活動するよさを、児童が十分意識できるようにする。
- ◎自然の材料のよさに気づき、それを生かした活動に取り組む児童を積極的に称賛する。
- 接合などで、なかなか思いどおりにできない活動があった場合は、援助するとともに、友達同士で協力することのよさを知らせ、協力して取り組めるようにする。



「こんな感じで、どうかな?」



「どう、見て!」「すご~い、おもしろいね。」

∞ 手がけたものから更に発想したことを付け加える。

- ・「もっと〇〇にしよう。」
- ・「こんなの、どう？」

4 活動を振り返り、後始末をする。

- ∞ 自分が手がけたものへの思いを温める。
 - ・「今日は、こんな活動ができてよかった。」
 - ・「ロッカーの上に大切に飾っておきたいな。」
 - ・「創作広場に置いてあげた方がきっと喜んでくれると思うよ。」

∞ 自他の活動やできたものを、楽しんで見る。

- ・「見て見て、これすてきでしょう！」
- ・「ねえ、それ、どうして、そうやったの？」
- ・「すごいね！」

◎屋外の活動場所の自然とかかわった活動の姿を見付けて、そのよさを称賛する。それにより、周りの環境とかかわる活動の価値に児童が関心を示すようにしていく。

鑑 集めた材料のよさや美しさから感じたことを基に、活動したいことを思い付いている。 <対話・活動・表現>

創 思い付いた方法を試したり、自分の表し方を確かめたりしながら、体全体を思いのままに働かせて活動している。 <対話・活動・表現>

○途中で活動を中断する場合は、次のことに留意する。

- ・本時の取組のよさを認め、今後の活動の可能性にも触れながら、次時の活動の意欲を高めるようにする。
- ・活動途中のものを痛めないように気を付けさせながら手際よく片付けられるよう、手順を指示する。
- ・教室に持ち帰るものは、所定の場所に危険がないように並べるようにする。
- ・屋外の活動場所に置いていくものは、他の活動に迷惑にならないような方法を考えて、置いていくようにする。

○題材の終末だけでなく、活動途中で自然に行われる鑑賞活動も積極的に評価していく。

◎自然の材料のよさや美しさに気付いている児童の感想を大いに称賛し、多くの児童に気付いてほしい鑑賞の視点を広めるようにする。

鑑 自分の活動や作品を見せ合ったり、友達が表したかったことを聞いたりして、楽しく見る。 <対話・活動・記録>



〔台紙に思いを描き加えたもの〕



〔地面に並べる活動そのものを楽しんだもの〕



〔材料を立体的に組み合わせたもの〕



〔材料の特徴を生かして立体として表現したもの〕

∞ 活動した場所を整頓する。

- ・『ちきゅうからの おくりもの』ありがとう。」
- ・「これで、元どおりにきれいになったね。」

◎表現活動で使用した材料の残りや不要物などの回収、活動場所の整備など、学習後の環境に対する配慮が十分に行えるよう、児童への指示を徹底する。

○表現したもので、作品として形が残らないものは、デジタルカメラ等で記録を残し、後で自分の活動を振り返り温められるようにする。

◎作品として形が残るものは、教室や家で飾ったりして、自然の材料からつくられたもののよさを味わえるようにしていく。